

内水試 News !

H22.9.9

かわら版 Contents

農村コミュニティの
自立支援に向けて

ミャンマーからのJICA研修生が養殖指導技術の研修で来場！



平成22年9月9日、JICAの国別研修プログラムの一環で8月下旬から来日しているミャンマーの水産行政部局の水産技官3名が、通訳、コーディネーターとともに現場を訪れました。ミヤ・キンマー(Myat,Khine,Mar)さんは畜水産省水産局養殖部に、ソ・テン(Soe,Thien)氏は出先機関のヤキ(Yae,Kyi)町の水産局に、テン・ウ(Thien,Oo)氏はカンコン(kyaung,Kone)町の水産局に所属しています。

今回の来日の目的は、日本の事例を参考にして自国の農村コミュニティにおける食糧増産と生計向上のための淡水魚養殖技術の普及指導プランを立案することにあります。約1ヶ月にわたる研修期間中、東京での講義研修のほか現地調査として内水面漁業や養殖業の盛んな本県を訪れたものです。

当日は当场研究職員からの説明を受けたほか、場内施設を詳しく見学しながら各試験池等での試験研究の内容や方法、それらの技術普及の方法、また内水面養殖業の現状について霞ヶ浦北浦の湖沼環境の状況も含めて幅広く意見交換を行いました。当场で行っている休耕田における魚類増殖研究にも強い関心を示し、お互いに有意義な情報交換ができました。彼らの研修が充実されますことを祈りします。

お問い合わせ 茨城県内水面水産試験場(増殖部) TEL 0299-55-0324